

令和5年度「ひろしまユニコーン10」プロジェクト環境整備業務 提案書評価基準

評価項目	評価の視点	配点 (配点×評価 率が得点)
5 (1) アクセラレーションプログラムの運営		150
1 業務遂行にあたって 具体性・妥当性	・過去に類似事業の実施実績があるなどのノウハウや業務遂行能力を備え、この事業にコミットできる人員が、事業目的及び目標に向け成果を出すことが期待できる配置、業務実施体制となっているか。	35
2 支援能力	・支援対象企業の分野や事業フェーズに合わせた支援が可能な専門知識と伴走実績を備えた専門家等が配置され、さらに海外展開に関わるノウハウや国外VCへの繋ぎなど、グローバルな支援も行える体制となっているか。	30
3 特色ある提案	・目標設定、KPI、プログラムの内容、スケジュール及び体制は、本プロジェクトの目的であるユニコーンのような急成長企業を生み出すことが期待できる内容となっているか ・県の注力分野（環境ビジネス・カーボンリサイクル分野や健康・医療関連分野など）のほか、今後世界的に大きく成長することが期待される社会的インパクトのある分野・領域が設定されているか	35
4 企業の発掘	・将来ユニコーン候補となりうる素質と志を持つ企業を主として県内企業（県内に拠点を移す予定がある企業を含む。）から掘り起こし、プログラムの応募に繋げることが期待できるような内容となっているか	35
5 継続性・発展性	・支援対象企業が支援終了後も引き続き、広島において継続的に事業成長を目指し、広島の産業・経済に貢献することが期待できるような枠組みとなっているか	15
5 (2) マッチング、オープンイノベーション等に資するイベントの開催		45
6 巻き込み力	・県内全域の支援関係者を本プロジェクトの活動に巻き込み、ともにユニコーンのような急成長を志す企業を発掘・支援することが期待できる内容となっているか。	25
7 継続性・発展性	・イベントを通じて本プロジェクトの認知拡大及びスタートアップ企業等の挑戦を応援するような機運醸成がはかれるとともに、参加した企業がイベント後も本プロジェクトへの参加や、新規事業による急成長に取り組む意欲を継続させるような工夫がされているか。	20
5 (3) (4) 国内外VC向けマッチングイベントの開催、VCネットワークの構築		60
8 具体性・妥当性	・支援対象企業の資金調達や協業マッチングの成功率が上がるような具体的な仕掛けや工夫があり、提案内容は実現可能なものか	35
9 継続性・発展性	・グローバルな規模で国内外のVC等を巻き込むとともに、VC等の興味・関心を広島のスタートアップ企業等に惹きつけ、来年度以降もネットワークの継続・拡大が期待できるような仕組みとなっているか	25
5 (5) 海外展開支援		15
10 継続性・発展性	・広島のスタートアップ企業等に積極的に海外展開に目線を向けさせ、海外展開を目指す機運を醸成するような工夫があるか	15
5 (6) 各種申請等のサポート		15
11 実施体制	・支援対象者に競争的資金募集情報を定期的に周知するとともに、希望に応じて申請プレゼン等を行うことなど、自発的なサポートが期待できる仕組みとなっているか。	15
5 (7) スタートアップ・企業情報のリスト作成及び管理		30
12 実施体制	・企業の目利きができる専門知識や実績を備えた専門家を揃え、スタートアップ企業等の生きた情報を積極的に収集するなど、ユニコーン候補として見込みのある企業を選定することが期待できる体制となっているか。	30
5 (8) 事務局及び統括マネージャー等の設置		35
13 具体性・妥当性	・関係者の役割分担等や繋がり明確であり、支援対象企業からの相談を取りこぼしなく迅速に対応し、個社ごとの多様な課題に柔軟に対応可能な人員配置や組織体制となっているか	35
全体を通じた評価項目		50
15 実施体制	・すべての委託業務内容が本プロジェクトの目標達成に向け効果的かつ一体的な取組となっており、その結果ユニコーンに匹敵する企業が、広島県から創出されることが具体的に期待できる内容となっているか	20
16 熱意	・本業務に対し並々ならぬやる気が伝わり、広島県と共に目標達成に向けてビジョンを共有し、ユニコーンに匹敵する企業の創出を通じて広島に挑戦することが当たり前な土壌・文化が醸成されることが期待できるか。	15
17 予算経費及び内訳	・経費の内訳が明確であり、妥当な業務価格であること	15
合 計		400

評価5:特に優れている 評価4:優れている 評価3:普通 評価2:劣っている 評価1:特に劣っている

※本評価基準における最低基準点は、237点（評価値の100分の60）とする。